

Ⅲ 親愛南の里(令和3年度事業報告)

1. 令和3年度経営方針

障害者総合支援法に規定する障害者支援施設として、生活介護・施設入所支援・短期入所の適切な運営管理に努めるとともに、利用者個々のニーズや障がい特性を踏まえた支援計画を策定し、安全で豊かな日常生活・地域生活を営むことができるよう、必要な支援サービスを提供する。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策として利用者・職員の感染防止に努めるとともに、利用者支援については、施設での生活の質と感染症対策の両立が図られるよう、生活場面での配慮や外出など活動メニューの工夫を行う。

また施設の老朽化対策として、秋季に館内空調機器の更新工事を行うほか、耐用年数を迎える業務用洗濯機などの高額備品を計画的に更新するための検討を進める。

- (1) 施設入所支援事業 主に夜間や休日において、生活の場にふさわしい日常生活支援サービスを提供する。
- (2) 生活介護事業 障がい特性や利用者本人の意向をもとに、健康維持や生きがい支援につながる日中活動支援サービスを提供する。
- (3) 短期入所事業・日中一時支援事業 在宅で暮らす障がい者本人とその家族の暮らしを支えるため、短期的な施設支援サービスを提供する。

2. 令和3年度取り組み

(1) 利用者支援

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
ア 体調異変を早期に発見し、集団感染や重症化を防ぐため、きめ細やかな健康観察と医療的支援を行う。 利用者の健康状態を表情・体温・食欲・排泄などから把握し、職員間で情報共有と連携を徹底し、適切な通院支援や服薬支援を提供する。	日常的な検温や様子観察を通じて体調異変を早期に発見し、早めの通院支援を行うことで異常の早期発見と重篤化防止に努めた。 また、記録システムを導入し、職員間の情報共有を図ることで、支援の質が向上した。
イ 行動障がいのある利用者が安心して過ごせるよう支援する 支援手順書を作成し、行動障害に適した支援を行う。	新規採用職員には早期に「強度行動障害養成研修」を受講させるとともに、利用者一人ひとりの支援手順書に基づき一貫した支援に努めた。
ウ 利用者・家族の声を個別支援計画に反映し、ニーズに沿った支援を提供する。 アセスメント、個別支援計画作成、モニタリングのPDCAサイクルを実行し、利用者のニーズを踏まえた支援を提供する。また会議を通じて支援計画の取組状況を共有し、一貫した支援を行う。	個々の利用者に合わせて個別支援計画を作成し、日々の引継ぎや会議の場で個別支援計画の取組状況について情報共有を行うことで、効果的で一貫した支援になるよう心掛けた。

<p>エ 季節感や彩りのある献立を作成し、利用者の嚥下機能を踏まえた安全な食事を提供する</p> <p>季節の行事食や各利用者の希望を踏まえた誕生日食を企画し、常食・ソフト食・刻み食など利用者の咀嚼・嚥下機能に合わせた食形態で提供する。</p>	<p>利用者の希望に基づく誕生日食に加え、「ごちそうの日」という特別メニュー日を設けたほか、郷土料理メニューを用意して食の充実に努めた。</p> <p>また、利用者の摂食機能に合わせ見た目にも工夫したソフト食や刻み食を提供した。</p>
<p>オ 感染対策を採りつつ楽しめる活動メニューを工夫する。</p> <p>感染リスクを踏まえ適切な外出先を選定するとともに、スノーズレン活動・散歩・体操・映画鑑賞など施設内で可能な活動メニューを充実させる。</p>	<p>感染症の影響により外出や買い物などの活動に制約が生じたが、参加人数や行先を工夫することで利用者の外出ニーズに応えるよう努めた。</p> <p>また納涼祭やクリスマス会などの季節行事についても感染対策を講じながら実施した。</p>

(2)人材育成

<p>◆具体的な取り組み内容</p> <p>取り組み方法・手段</p>	<p>実績</p>
<p>ア 新任職員を中心に幅広く知識・技能の習得を図るための OJT を実施する。</p> <p>キャリアパスや育成課題を踏まえた OJT・内部・外部研修について、オンライン研修なども活用しながら効果的に実施する。</p>	<p>集合研修に代えてオンラインを中心とした外部機関研修に延 41 人の参加を行った。</p> <p>また OJT 研修においては、新任職員を対象に利用者支援に必要な知識やスキルを獲得できるよう丁寧な指導に努めた。</p>
<p>イ 行動障がいのある利用者適切に対応できる職員を育成する。</p> <p>「強度行動障害支援者養成研修」未受講者を受講させる。</p>	<p>年度当初の計画どおり、新規配属職員 3 名に強度行動障害研修の受講を進めることにより、行動障害の理解の促進を図った。</p>

(3)施設設備管理

<p>◆具体的な取り組み内容</p> <p>取り組み方法・手段</p>	<p>実績</p>
<p>ア 施設・設備の老朽化対策を計画的に実施する。</p> <p>令和3年度の主な工事・設備の整備</p> <p>(ア) 館内空調設備更新工事に設計事務所との連絡・調整</p> <p>(イ) 館内空調設備更新工事</p> <p>(ウ) 業務用機器の更新スケジュールの検討</p>	<p>事業計画に基づく館内空調機器更新工事を予定どおり実施した。</p> <p>また、今後 5 か年の施設備品に関する改修計画を検討し、施設設備の更新イメージをまとめた。</p>
<p>イ 設備・備品の修理・更新を進める</p> <p>(ア) 受水槽亀裂補修</p> <p>(イ) 利用者用衣類乾燥機更新(2台)</p> <p>(ウ) 男子1階トイレ壁面タイル補修</p> <p>(エ) 利用者用介護ベッド更新(1台)</p> <p>(オ) 2階食堂配膳室扉修理</p> <p>(カ) 1階階段下倉庫扉修理</p> <p>(キ) 把握用受信機(1台)</p>	<p>(エ)を除き、計画どおり設備の修理・更新を行った。</p> <p>(キ)については、リースを含めて検討する。</p>

(4)危機管理

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>ア 感染症による健康被害や事業への影響を抑え、安定した施設運営を行う。</p> <p>(ア) 日々の健康チェックと感染防止対策の徹底</p> <p>(イ) 必要に応じた発熱者対応手順の見直し</p> <p>(ウ) 流行状況にあわせた外出先や活動内容の変更</p>	<p>新型コロナ感染予防のため、職員の感染防止意識の向上を図るとともに、外部者の出入制限や館内消毒を実施した。また利用者の発熱などが確認された場合は速やかに医療につなげた。幸い新型コロナの集団感染を防ぐことができた。</p>
<p>イ 防災計画に基づく訓練を実施し、災害時に迅速に避難ができるよう備える。</p> <p>(ア) 年4回の防災訓練を実施、うち1回は消防署の立会い指導による防災訓練を行う。</p> <p>(イ) 非常用発電機の点検を実施する。(負荷試験)</p>	<p>5・8・11・3月に避難訓練を実施した。5月は高階分署の立会いによる総合防災訓練として実施した。</p> <p>非常用発電機の性能評価として負荷試験を実施した。</p>

(5)その他

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>ア 地域社会との共生</p> <p>地域貢献を念頭に地域との連携を図ることで福祉拠点としての役割を果たす。</p>	<p>新型コロナ対策に伴い一部期間で短期入所や日中一時の受入れを制限せざるを得なかったが、状況を見極めつつ前向きな受入れを行った。</p>
<p>イ 福祉人材を育成し、多様な働き方を希望する人材の有効活用を進める</p> <p>実習生を受け入れるとともに、広く中高年層やパート労働者を積極的に活用することにより、福祉人材の確保と障がい福祉の啓発を図る。</p>	<p>まん延防止等重点措置の発令により、当初予定していた実習生の受入れを一部制限せざるを得なかった。</p> <p>また、大学生アルバイトの活用をきっかけとしてその後の正職員への応募につながるなど、新たな福祉人材の活用につながった。</p>
<p>ウ 施設の情報公開を進める。</p> <p>ホームページを活用し施設の情報を広く発信する。</p>	<p>南の里の様子を知らせるため、「親愛会事業所日誌」のブログに6回投稿を行った。</p>

■ 親愛南の里（令和3年度事業報告 資料）

令和4年3月31日現在

1 利用者状況

(1) 障害支援区分(名)

支援区分	入所			通所		
	男	女	計	男	女	計
区分6	20	6	26	2	0	2
区分5	3	9	12	1	0	1
区分4	0	2	2	0	0	0
区分3	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0
区分1	0	0	0	0	0	0
合計	23	17	40	3	0	3

(2) 年齢構成(名)

区分 種別	性別	20歳未満	20歳以上～30歳未満	30歳以上～40歳未満	40歳以上～50歳未満	50歳以上～60歳未満	60歳以上	平均 (歳)
		(入所)	男	0	0	3	7	
	女	0	0	0	2	4	11	64.7
	計	0	0	3	9	9	19	59.1
(通所)	男	0	0	0	0	0	3	66.3
	女	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	3	66.3

(3) 通院・入院状況 (回)

※訪問歯科受入 11回

	精神科		内科	外科	眼科	耳鼻科	皮膚科	外科 整形	婦人科	歯科	その他	計
	入所	50 (-40)	83 (+32)	20 (+2)	2 (+1)	0	8 (-23)	28 (+10)	0	266 (+83)	47 (+16)	504 (+81)
通所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
入院	件	0	7 (+1)	8 (+5)	0	0	0	1 (+1)	1 (+1)	0	0	17 (+8)
	日	0	180 (+50)	137 (+74)	0	0	0	25 (+25)	3 (+3)	0	0	345 (+152)

2 事業所状況

(1)各事業の実施状況

事業名	定員(名)	平均利用人数(名)	利用率(%)
施設入所支援	40	38.1	95.2
生活介護	40	39.6	99.1
短期入所	10	1.4	14.0
日中一時支援	—	34人(延人数)	—

(2)ボランティアの受け入れ状況

受け入れ	延べ人数(名)	受入事業	延べ人数(名)
余暇・趣味(茶道・コーラス)	0	その他(理美容・施設体験ボラ)	28
行事活動(外出引率等)	0		
環境整備(掃除・洗濯等)	0	合 計	28

(3)実習生・研修生の受け入れ

区分	実習校等(か所)	人数(名)	延べ日数(日)
実習生	10	22	276